

## 令和4年度 岡崎市博物資料収集委員会会議録

- 1 開催日時  
令和5年2月17日(金) 午後1時20分から午後3時まで
- 2 開催場所  
美術博物館1階会議室
- 3 出席委員  
小池富雄委員長・仲野泰裕委員・松島周一委員・小早川道子委員
- 4 欠席委員  
鷹巣 純委員(選定意見書受領)
- 5 説明のため出席した事務局職員  
安藤治樹社会文化部長・前島豊館長・大澤一実副館長  
小幡早苗主任主査・浦野加穂子主査・湯谷翔悟主査・山下葵主事・堀江登志実主事・伊藤久美子会計年度任用職員
- 6 会議の成立  
委員5名のうち4名出席のため、岡崎市博物資料収集委員会設置要綱第4条第2項の規定により、会議の成立を確認した。
- 7 会議の公開・非公開について  
岡崎市情報公開条例第7条に規定する非開示情報を取り扱うため、本会議について非公開とした。
- 8 会議の内容  
収集候補資料7件(購入1件、寄附5件、寄託1件)について、岡崎市美術博物館及び文化振興課職員が説明した後、会議室にて資料を実見した。  
審議の結果、上記7件の資料について、全会一致で収集が妥当との結論が出た。委員の意見等は以下のとおり。

### 【購入資料】

- ・調書番号1 - 1 徳川家康書状 朽木弥十郎宛

三方ヶ原合戦直前の苦闘を伝える史料として興味深い。足利義昭側近への書状であり、宛所の位置が高く筆致も謹直で、実物だから知りえる情報も多い。古美術的にも金額は妥当で、受入れに異議はない。

### 【寄附資料】

- ・調書番号2 - 1 刀 銘 三州住筒井清兼作及び刀 銘 三州住筒井清兼

岡崎市ゆかりの刀工の作で出来が良く、当市の作刀の歴史を知る上で良い資料で

ある。市域での作刀の歴史を重視するため、調書中の「清兼の作刀の変遷」は、「清兼の作刀の来歴」に修正する。本資料の受入れに異議はない。

・調書番号 2 - 2 緒方家資料（追加）

当館にすでに寄附を受けている緒方家資料と一貫性をもって収集し、なおかつ現在当該資料の寄託を受けている熊本市田原坂西南戦争資料館にて継続して保管・活用を行うことで、受入れに異議はない。

・調書番号 2 - 3 杉本安氏所蔵資料

杉本家は和算に秀でていたことで藩士に取り立てられたようであるが、庶民が藩に採用される事例として興味深いのでないか。版本であることなど書誌学情報を調書に入れるべきである。受入れに異議はない。

・調書番号 2 - 4 大磯義雄氏所蔵俳諧資料（追加）

鶴田卓池が魅力的な俳人であることがわかる資料であり、受入れに異議はない。画賛など状態が悪い資料については、修復を検討し活用できるようにして欲しい。

・調書番号 2 - 5 改正海外諸島図説 前集

館のコンセプトである「東と西の出会い」に合う資料で、館蔵品と併せて展示できる。当時の庶民の異国認識をビジュアルで知ることができる資料で、受入れに異議はない。

【寄託資料】

・調書番号 3 - 1 短刀 銘 村正 拵付

村正の作例として、地元で当時よく使用された刀剣であり、経年の摩耗を含むものの刃文は健全に残っている。歴史研究の上でも徳川家との関係を考える上での資料にもなる。受入れに異議はない。